

CH0 まえがき

まえがき

本報告書について

経営者のご挨拶

2023年の栄誉と受賞

2023年サステナビリティ戦略と注目すべき業績

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



本報告書について

報告書の枠組みと編纂の原則

新唐科技株式会社（以下、「ヌヴォトン」または「当社」と表記）は、2012年から「CSR 報告書」を自主的に発行してきましたが、2021年から名称を「サステナビリティ報告書」に変更しています。また、2012年は報告書の英語版も発行し、情報の伝播性を向上させました。2023年には、グローバル・サステナビリティ基準審議会（Global Sustainability Standard Board, GSSB）により2021年に公布されたGRIスタンダード（GRI Standards）、サステナビリティ会計基準審議会（Sustainable Accounting Standards Board, SASB）により公表された業界スタンダード 2023年版、気候関連財務情報開示タスクフォース（Task Force on Climate-related Financial Disclosures, TCFD）の枠組みなどに従って報告書を編成し、ガバナンス、社会、環境という各方面におけるヌヴォトンの成果や将来計画をステークホルダーの理解に供しています。

報告の範囲と開示対象期間

本報告書で開示する内容やデータの対象期間は2023年度（1月1日から12月31日）です。サステナビリティ関連データにはヌヴォトン台湾（Nuvoton Technology Corporation, NTC）と子会社であるヌヴォトン日本（Nuvoton Technology Corporation Japan, NTCJ）が含まれ、前者には新竹研新工場、竹北事務所、台北事務所および台南事務所、後者には砺波、魚津、新井および長岡京の工場がそれぞれ含まれます。今年は初めてNTCJが報告書の対象範囲に入りました。財務データについては連結財務諸表を採用し、その範囲には全世界の事務所（日本、アメリカ、イスラエル、中国大陸、香港、インド）が含まれます。資料では台湾元を単位とし、NTCJの財務データは2023年12月29日（2023年最後の取引日）における台湾銀行の発生時レートで当行が購入したデータに基づき1円=0.2079台湾元で換算しました。

本年度の発行時期：2024年5月

前年度の発行時期：2023年6月

次年度の発行時期：2025年6月の予定



第三者保証

本報告書の検証を、独立した公正な第三者機関である「台湾檢驗科技株式会社」（SGS Taiwan Ltd.）に依頼し、本報告書の内容がGRI Standards (2021)を遵守しておりAA1000AS TYPE1 中度保証等級の検証基準に適合していることが確認されています。本報告書の付録である検証声明書を参照してください。

報告書の審査・管理フロー

本報告書で開示する情報やデータは、各権限・責任部門により提供され、サステナビリティ報告書の編纂完了後に各部門の責任者へ送付して確認を受けました。その上で、サステナビリティ報告書の編纂と保証の作業手順に基づき、内部監査部門によるチェックを経た後、2024年7月30日に董事会に提出されました。

- 収集（報告する年度の関連情報・データを各部門が収集して提出）
- 編纂（各部門から提出された情報やデータをまとめ、年次報告書を編纂）
- 審査（報告書の初稿を各部門の責任者に提出し、その内容やデータを審査）
- 原稿確定（董事長による決定稿の審査と董事会による承認を経た上で公表）

意見・フィードバック

本報告書について何かフィードバックや意見がありましたら、下記の連絡先までお知らせください。

ヌヴォトン株式会社

🏠 所在地：300台湾新竹市科学工業園区研新三路4号

☎ TEL：+886-3-5770066 内線 23246

📠 FAX：+886-3-5792606

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

董事長からのご挨拶

過去、特に 2021 年と 2022 年に直面した供給不足の中で、私たちは隠れたチャンピオンになるための継続的な努力の中で戦略の見直しを行いました。

しかし、隠れたチャンピオンになるまでの旅に終わりはありません。これは、ビジネスのレジリエンスの追求と完全に一致する旅です。

NTC と NTCJ の熱心な同僚は全員、株主の利益を追求し、社会と国に利益を還元するために熱心に取り組んでいます。当社は 8 つの事業グループにまたがる多様な製品ポートフォリオを持っており、そのうちの 3 つは台湾にあり、6 インチ ウェーハ工場も含まれます。NTCJ には、5 つの事業グループがあり、製品の多様化における独自の利点を活かしています。

2023 年は、市場全体の縮小と厳しい経済環境に直面しましたが、チームがたゆまぬ努力を続け、ヌヴォトンの 8 つの事業グループにわたる多様なポートフォリオにより、製品の多様化における独自の利点を活用できるようになりました。将来的には、継続的な成功を推進するために、市場シェア、グローバル化、顧客との距離の近さなど、隠れたチャンピオンの地位とビジネスの回復力を結び付ける重要な概念に焦点を当てていきます。

市場の不確実性に直面して、当社は市場シェアを強化することに全力で取り組んでおり、それによって製品ラインの競争力を強化し、ビジネスの安定性と予測可能性の基盤を築きます。

グローバル化は課題と機会の両方をもたらします。当社の多様な製品提供により、当社の世界的な存在感が拡大します。国際的な規模でブランドを構築し、当社の幅広い製品ポートフォリオを活用して機会を最大化します。

お客様は当社の成功の中核であり、ヌヴォトンの価値はステークホルダーとコミュニケーションを取り、お客様のニーズに注意深く耳を傾けた上での革新的なアイデアから生まれ、お客様の期待を超え、強い関係を維持することが当社の戦略の重要な部分です。

ヌヴォトンは自社の運営力の維持に努めるとともに、2023 年から社内外の力を統合して 4E（Empowered エンパワード、Engaged エンゲージド、Education 教育、Environment 環境）を推進し、社会参加と気候変動への配慮という 4 つの主要な発展軸を設定する。「社会福祉、地域公益、人間教育、環境保護」を核として、周辺地域との交流やコミュニケーションに資源を投入し続けます。

ネットゼロの取り組みを維持し、炭素削減の青写真を達成するためにリソースを積極的に投資し、社会的影響力を発揮するために外部のパートナーとリソースを組み合わせ、コーポレートガバナンス構造を継続的に強化し、健全な内部管理システムを確立し、最終的にはこの持続可能性を実現します。当社のパフォーマンスとエネルギーをさまざまな側面から説明します。

また、当社はステークホルダーの皆様に寄り添い、ネットゼロの未来に向けて努力を続けてまいります。



董事長
蘇源茂

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガバナンス

CH4
環境サステナビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

ヌヴォトンテクノロジージャパン社長からのご挨拶

本 ESG レポートの範囲には、ヌヴォトンとして初めて子会社の NTCJ が組み入れられました。ヌヴォトンは 60 年もの歴史がある日本のパナソニック半導体事業グループを 2020 年に合併し、グローバルな研究開発のエネルギーを注入しています。私たちは、財務・研究開発・品質・環境・安全・衛生・人事などの統合に取り組み、グローバルな運営の拠点の一つとして NTCJ を位置づけました。日本の従業員も共同参画するよう積極的に結集し、環境・顧客・社会貢献という三大主軸を実践してきました。2030 年にはスコープ 1 とスコープ 2 に含まれる排出量を 2020 年より 50% 以上も低減する上、スコープ 3 の削減についてもサプライヤと協力し合っています。また、より体積が小さく、低エネルギー消費で高効率な環境配慮型製品を顧客のために研究開発し、その目標は 2025 年までに新製品のエネルギー消費量を 15% 以上も削減することです。私たちは地域社会と共同で清掃活動を行うとともに、奨学金や教育ローンにより潜在的な優良従業員をリクルートし、将来的には障がい者雇用率も向上させて、社会に対する NTCJ の重視度と配慮を具体的に示していきます。

2023 年度のサステナビリティ報告書では、私たちの ESG に関する業績や貢献を詳細に開示し、ステークホルダーとの協力を努めながらサステナビリティに取り組んでいることも紹介しました。そして、私たちのビジョンが達成されて影響力を発揮し、引き続き社会に貢献していけることを願っています。

社長
小山一弘



総経理からのご挨拶

2023年、私たちは世界的な市場の変動と景気後退に直面しましたが、ヌヴォトンの回復力とチームワークを実証して、困難な年をうまく乗り切ることができました。

次に、ヌヴォトンはこう続けます。

変化する風景に適応する

私たちを取り巻く世界は急速に進化し続けているため、2024年、私たちは競争上の優位性の向上、内部プロセスの最適化、生産性の向上を優先します。

市場に近づく、顧客に近づく

より緊密なパートナーシップを構築することで、お客様のニーズやご要望により迅速に対応することを目指しています。顧客中心のイノベーションが当社の指針となります。製品と技術の進歩を開発し、長期的な競争力を強化するためにリソースの配分を調整します。

機敏性を重視し、成功を重視する

急速な変化に直面しても機敏かつ大胆になり、スキルセットを拡大して限界を押し広げ、仕事の卓越性を追求してください。

したがって、前述の方向性計画の下では、次のようになります。

製品開発に際して、ヌヴォトンはこれまでの製品ラインの開発において引き続きイノベーションを進めながら、電気自動車、インテリジェントマニュファクチャリング、クラウドコンピューティング、新エネルギー関連ソリューションなどの分野へも積極的に進出してきました。当社の製品ポートフォリオを最適化し、イノベーションや技術開発に関するヌ

ヴォトンの強靱な実力を発揮しています。また、ヌヴォトンは研究開発やイノベーションを製品のサステナビリティ トランスフォーメーションに向けた原動力とも見なしており、先進技術の研究開発によって、原材料の節約、製品の動作効率向上および動作時消費電力低減を図ってきました。例えば、新しい32ビットマイクロコントローラは一世代前に比べ、その体積が40%も小さくなり、動作時消費電力と待機時消費電力がいずれも半分近くまで低減され、ウェーハの省電力と小面積という優位性が実現されました。ヌヴォトンは、製品イノベーションの成果により多くのところで認められており、中でも高性能なNuMicro® M467シリーズのマイクロコントローラはネットワーク通信と強力なハードウェア暗号化の機能を備え、Skymizer ニューラルネットワーク技術との連携に最適であることから、高エネルギー効率な組み込みシステムにおける機械学習のために抜群の推論性能を提供することができます。これはEE Awards Asia 2023で年間最優秀MCU/ドライバIC製品賞を受賞しました。ヌヴォトンはこれからも事業の成長を追求しながら、グリーン製品やグリーン製造プロセスを発展させる道を真剣に歩み続け、設計を通じて製品の効率を高め、環境への影響を軽減します。「人間の生活を豊かにする、グリーン半導体技術の見えないチャンピオン」という事業ビジョンを掲げ、ヌヴォトンの長期的戦略と産業配置を計画します。そして、顧客、投資家、株主、従業員といったステークホルダーに責任ある報酬を提供することにより、当社のサステナブル経営の目標を実現していきます。



総経理
楊欣龍

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガバナンス

CH4
環境サステナビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

NTC サステナビリティ 委員会委員長からのご挨拶

ヌヴォトンは2050年までにネットゼロエミッションという長期的な削減目標を定めた上で、短期・中期・長期的な目標も定めて世界のネットゼロエミッションという趨勢に対応してきました。ヌヴォトンはエネルギーマネジメントシステム（ISO 50001）を構築して認証を取得し、エネルギーの管理により系統的で適及可能な省エネルギー計画を立て、電力の使用過程で石油化学製品の燃焼により間接的に排出される二酸化炭素を削減しています。ヌヴォトンはスコープ1とスコープ2について運営と製造フローを見直し、温室効果ガス（以降、温室効果ガスと表記）の処理設備を増設して、エネルギー消費量やエミッションの削減と稼働効率の向上を図るとともに、自社における再生可能エネルギー発生装置の容量を積極的に向上させ、設置済みの太陽光発電システムで年間880,000kWhのグリーン電力の発電を見込んでいます。当社は、スコープ3についてもサプライヤと持続的に連携しながら、サプライチェーンにおける温室効果ガス精査のデータを収集しています。製品の性能を向上させるだけで、顧客の製品使用過程におけるエネルギー消費量削減に協力でき、省エネ・炭素削減という目的が達成されるのです。ヌヴォトンはこの炭素削減という道を自ら速く歩むだけでなく、バリューチェーンのパートナーと共に前進することも望んでいます。

ヌヴォトンは「人間中心」という精神を堅持しつつ、当社のサステナビリティにとって重要な資本は人材であると考え、人材の育成と成長を重視して、人にやさしい職場づくりに取り組み、安全かつ健康的な労働環境を従業員に提供してきました。また、人的資源管理制度の整備や人的資源整合システムの最適化などの措置を通じて、人間中心という企業文化を持続的に伝達し、ヌヴォトンに対する従業員の信頼感を向上させています。

サステナビリティの実践はとても長い道程ですが、ヌヴォトンはグリーン半導体技術を活かして人々の暮らしを豊かにし続けながら、各炭素削減措置を積極的に推進し、ESGに関する理念に注目している多くのパートナーと共に前進し、サステナビリティを実践するグリーン企業となるために努力していきます。

サステナビリティ委員会委員長
/ 副総経理

林光論



NTCJ サステナビリティ 委員会委員長からのご挨拶

NTCJでは持続可能な社会の実現に向けて、環境、社会、ガバナンス（ESG）活動に組み、社会から信頼され続ける企業を目指しています。2023年は、活動の初年度として、まずNTCと連携して進めることができる体制を構築しました。7つのワーキンググループを設立し、台湾と日本が一緒に活動を推進し、活動内容とそのパフォーマンスを、NTCグループ一体としてすべてのステークホルダーに開示し、理解と信頼の獲得をえるようにします。

このワーキンググループの定期的な統合会議を通じて、各活動の進捗を共有し、短期・長期の目標を定めることで、NTCとNTCJ双の方が企業の持続可能な運営に向けた一貫した方向性を確立することを目指しており、この活動を拡げることで、常にリスクと機会を同時に把握することができるよう努めています。

私達には明確なビジョンがあります。

「グリーンな半導体技術で人びとの生活を豊かにする Hidden Champion になる」

ESG活動を通してこのビジョンの実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

ヌヴォトンテクノロジー・ジャパン サステナビリティ委
員会委員長 / コーポレート戦略室室長

中西 直樹



2023 年の榮譽と受賞

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録



『商業週刊』の2023年
炭素競争力 100 強企業
に入選



CDP 炭素開示プロジェクト
「気候変動」管理レベル B
を獲得



「台湾証券取引所」
台湾高給与 100 指数に継続的に選出



2023 年台湾檢驗科技株式有限公司
SGS ESG Awards の
「サステナビリティ報告書賞」
を受賞



2023 年 TCSA
(Taiwan Corporate Sustainability Awards)
企業サステナビリティ報告部門の
「電子情報製造業銀賞」を受賞



NuMicro® M467
シリーズのマイクロコントローラが
2023 EE Awards Asia のアジア精選賞
年間最優秀 MCU/ ドライバ IC を受賞

2023年サステナビリティ戦略と注目すべき業績

まえがき

CH1
サステナビリティ
コミュニケーション

CH2
グリーン製品

CH3
卓越したガ
バナンス

CH4
環境サステナ
ビリティ

CH5
安心な職場

CH6
社会との共栄

付録

グリーンテクノロジー の推進



SDG 7 負担可能なサステナブルエネルギー

- 契約容量の8%に当たる再生可能エネルギー発生装置の設置が完了（年間88万kWh）



SDG 9 産業のイノベーションとインフラ

- 米国連邦暗号モジュールセキュリティ標準 FIPS 140-3 認証の組み込みコントローラ（EC）とスーパーI/O ウェーハ（SIO）のサプライヤとしてヌヴォトンが初めて合格
- 約86.2億台湾元ものグリーンレベニュー（green revenue）を創出
- 世界で4,500件を超える特許を取得



SDG 12 責任ある消費と生産

- 約86.2億台湾元ものグリーンレベニュー（green revenue）を創出
- ヌヴォトンが一世代前のウェーハより実装面積が67%も小さい新型のeBMCウェーハを発売し、ウェーハ製造時の原料であるシリコンの所要量を低減させ、エンドシステムへの使用時における回路基板の材料とスペースを節約
- 超低消費電力次世代マイコンMG51チップを開発 製品の消費電力とプロセス選択を改善し、低消費電力・低リーク化を実現し、前世代低消費電力マイコンチップ76E003と比較して実行消費電力を35~40%低減。バッテリー寿命も延長します。



SDG 13 気候変動に具体的な対策を

- CDP 炭素開示プロジェクト「気候変動」管理レベルBという栄誉を獲得
- NTCとNTCJの気候リスク評価を実施し、初のTCFDレポートを発行

幸福で安全な 職場づくり



SDG 1 貧困撲滅

- チャリティー活動「閲読閲愛」で計944冊の古書を収集
- 計1,140,133台湾元を投入し、延べ1,217名がボランティアと募金に参加して、計2,560時間にわたり活動



SDG 3 良好な健康と福祉

- 請負業者の管理や監督・指導を着実に実施し、労務不能障がい6年連続ゼロ
- 2021年から2023年にかけて合計約1,953万台湾元の育児手当を支給
- 育児休業からの復職率は91.6%、定着率も91.6%



SDG 4 質の高い教育

- NTCにおける従業員の研修時間は計41,699.87時間、一人当たり平均が26.82時間、NTCJにおける従業員の研修時間は計22,510時間、一人当たり平均13.55時間



責任あるガバナンス



SDG 8 働きがいと事業成長

- 台湾証券取引所「台湾高給100指数」の対象銘柄に指定
- 2023年における連結営業収益は353.48億台湾元、税引後純利益は24.2億台湾元、税引後1株当たり利益は5.77台湾元



SDG 9 産業のイノベーションとインフラ

- 顧客満足度の回答率は88%、全体の平均満足度は8.85ポイント
- 2023年にNTCが出願した特許は283件、2023年に承認された特許は305件、2023年の台湾企業特許出願件数で第23位にランクイン。NTCJでは2023年の特許出願が204件、2023年に承認された特許が125件



SDG 12 責任ある消費と生産

- NTCの現地調達率は全社調達額の41.6%と過去最高となり、NTCJの現地調達率は全社調達額の52%となった。



SDG 16 平和・正義と有効な制度

- NTCでは「企業経営に関する信義誠実の行為とサステナビリティ規則の周知・指導」という研修を実施。NTCJではコンプライアンスに関する研修を5回にわたり実施。いずれも修了率が100%